

みんなのた場

サークル仲間 ①⑤ 心重ねてハーモニー 癒やしのお響きで61年

石巻市民合唱団

結成は昭和33年2月。今月で発足してからちょうど61年になりました。昭和34年3月に、初めての演奏会を開催し、その後は秋に年1回の定期演奏会の開催を継続しています。

最近、取り組んでいる作品は星野富弘作詞、杉本龍之作曲の「ひと粒の種のように」の混声合唱組曲。1月11日の練習では、同組曲以外にも、年頭ということでも「一月一日」を歌いました。季節や、その時々のお話に合わせた曲を歌うことで、練習にメリハリを与えています。

さらに、この日は震災の翌年に石巻専修大と石巻市女高が募集した復興応援詩

コンテンツでゴールド賞に選ばれた作品「ことば」にメロディーを付けた曲を練習しました。新田昭夫代表の指揮で何度も練習し、ハーモニーに磨きを掛けていきます。締めくくりには同合唱団の定番曲の「さようなら」を新田代表も加わり、全員で歌いました。



新田代表の指揮に合わせて練習を繰り返す



結成61年を迎え、張り切るメンバー

文化財 たんぽう ⑩⑤

遠藤家住宅

気仙大工の技法、随所に

生涯学習課

平成30年11月16日、文部科学省文化審議会が市北村の遠藤家住宅を国の登録有形文化財(建造物)として登録を答申しました。遠藤家住宅敷地内には主屋の他、四つの付属屋があります。その中で主屋と土蔵が登録の対象です。

遠藤家は古くは葛西氏の家臣で、慶長年間に北村で帰農し、江戸期には肝入、明治期には村長を務めるなど、地域に貢献してきました。遠藤家住宅主屋と土蔵は棟札によると、共に明治29年の建築、棟梁は岩手県気仙地方の大工集団、気仙大工の黄川田善治となって

造られています。黒地の鉢巻の上に漆喰白抜きマユガキと唐草模様は施され、ここにも気仙大工の技法が見られます。このように気仙大工の技術の特徴を顕著に有していること、棟札が残っており、建築年代や棟梁の名前が判明していることで、歴史的価値が高いとの評価を受け、官報告示を経て正式に登録される予定です。(平成31年1月現在)



遠藤家住宅主屋



遠藤家住宅土蔵



阿部澄子さんの100歳(大浜)

阿部澄子さんは大正7年12月2日、北海道神恵内村で秋山政治・ハツ夫妻の長女として生まれました。20歳ごろ、父の古里の旧雄勝町に家族で移住。22歳の時に、阿部四郎兵衛さんと結婚し、5男を授かりました。

ちと触れ合い、穏やかな生活を送っています。

夫の仕事の関係で東京に住んだ後、雄勝町大浜でノリ、ワカメの養殖に夫婦で取り組みました。養殖の傍らには畑を耕すなどして家計を支え、子どもたちを育てました。現在は孫10人、ひ孫が6人います。

趣味は読書。歴史小説が好きで、毎日欠かさず本を開いています。耳は、はつらつと応じます。健康のもう一つの秘訣は何でも食べること。特に野菜は好物で、旬の味を楽しみにしています。

夫亡き後も、家族とともに大浜で暮らしていましたが、震災で自宅が流失し、仮設住宅での生活を経験するなどの苦労も味わいました。2年前からは、河北地区のサービスタ付き高齢者住宅で、雄勝地区出身の人た



<ふるさとのめぐみを味わおう>

広瀬小学校では、「学校田」で地域の方々の指導を受けながら、もち米を栽培しています。春の田植えから夏の生育調査、秋の稲刈り、脱穀まで一年かけて収穫したお米は深谷サークルの「お正月教室」での餅つきに使い、児童はもちろん、保護者や地域の方々と一緒に、ふるさとのめぐみとしておいしく味わいました。

図 学校教育課(内線5029)

12 22・23 牡鹿 旬の魚が勢ぞろい、格安で販売

牡鹿半島はまっこ市



Topic of town まちの話題



牡鹿地区で水揚げした海産物を格安提供する「第6回牡鹿半島はまっこ市」が12月22、23の両日、牡鹿公民館跡地で開かれました。金華山周辺の定置網で取れた新鮮なタラやヒラメなどを来場者が落札する競り市は、熱気に包まれました。バケツいっぱい魚の豪快詰め合わせ販売、ノリやカキなどが入った「はまっこ汁」の試食などもあり、磯の香りを満喫したイベントとなりました。

1 6 河北 無火災へ誓い新たに一齐放水

石巻市消防団出初式

「石巻市消防団出初式」が1月6日、河北総合センターと隣接する旧北上川河川敷でありました。式典は無火災を祈る黙とうで始まり、あいさつで松川恵洋地区団長は「自分たちの地区は自分たちで守るという決意を持ち精進してほしい」と述べました。功労者表彰の後、河川敷で観閲式と小型ポンプ積載車による一齐放水を行い、無火災・無災害への願いを新たにしました。



1 1・2 石巻 餅つき、たこ揚げで初春祝う

マンガタンお正月

石ノ森萬画館で1月1、2の両日、「マンガタンお正月」が開かれました。穏やかな初春を迎え、餅つき大会やたこ揚げに多くの家族連れが参加しました。餅つき大会では、子どもたちが保護者らと一緒にきねでつき、ごまときな粉餅にして来場者に振る舞われました。1,000円～1万円の福袋も販売され、縁起物を求める人の笑顔が広がりました。



12 5 河南 ピリッと引き締め 運転を

交通安全からしまき作戦

石巻地区交通安全協会河南支部と女性部は12月5日、前谷地のホームセンター駐車場の特産品のからし巻きをドライバーに配布し、安全運転を呼び掛ける「からしまき作戦」を繰り広げました。圧雪や凍結で滑りやすい冬場の運転は油断禁物です。ハンドルを握る時は「ピリッとされた気持ちで」との願いを込め、ドライバーに無事故を訴えました。



12 4 雄勝 子どもたちが笑顔を届ける

特養「雄心苑」を慰問

雄勝保育所の子どもたち10人が12月4日、特別養護老人ホーム「雄心苑」を訪問しました。今年度2回目の訪問で、施設利用者たちを前に「どんぐりころころ」「やきいもグーチーパー」の歌をはじめ、「きらきらぼし」のハンドベル演奏や、フラダンスなどのお遊戯を披露しました。発表の後には子どもたちが手作りした大きなクリスマスリースをプレゼントし、肩たたきや握手で利用者たちと触れ合いました。



12 28 北上 正月は地元の海と山の幸で

にっこり歳の市

正月用の食材などを集めた「にっこり歳の市」が12月28日、石巻・川のビジターセンターと北上観光物産交流センターの駐車場で開かれました。北上地区や、隣接する南三陸町などから20店が軒を並べ、特産の塩蔵ワカメや生きアワビ、タコのほか、野菜などが販売されました。地元の女川法印神楽も披露され、多くの買い物客は楽しみながら店を巡っていました。



12 2 桃生 はねこ踊りに股旅、カラオケ

桃生地区芸能祭

桃生地区芸能祭が12月2日に桃生公民館で行われました。参加した32組の有志団体は、この日のために、はねこ踊りや股旅、楽器演奏、カラオケなど、それぞれの特技を熱心に練習してきました。当日は練習の成果が十分に発揮され、出し物が発表されるたびに大いに盛り上がりました。最後に大抽選会も行われ、会場に笑顔があふれました。

